

交 流 通 信

田原市の友好都市
長野県宮田村から
耳よりな話題をお届けします

企画課 ☎ 2 3 局 3 5 0 7



江戸の姿をそのままに

田原市の皆さんこんにちは。宮田村からお伝えします。こちらでは、2月に雪が降ったそうですね。こちらでは例年に比べ雪の少ない冬でしたが、まだまだ寒い毎日が続いています。春が待ち遠しいですね。今回は、17年ぶりに屋根の葺き替えを行う『宮田宿本陣』をご紹介します。この建物は、りんごオーナーの契約会や収穫祭の会場として田原市の皆さんにもなじみ深い『ふれあい広場』の一角にあります。

宮田宿本陣（旧新井家住宅）

宮田村町地区の宿場町にあった江戸時代の本陣が、建設当時の姿に復元されています。

宿場町は、もともと近在の家を集めてつくられた人為的な町で、その中に設けられた殿様や旗本の宿泊するための公営施設が本陣です。宮田宿の場合は、藩役人が出張したときの臨時政府や休憩所、会合所としても使われていたようです。

宿場内の建物は、防火のためすべて板葺きと定められ、通路の幅は約

10メートル。中央に水路を通し、そこから、生活用水や防火用水のほか、各家で飼っていた馬の飲み水などを得ていました。

建物の周りを巡り、黒光りする太い母屋の骨組みを眺めながら、ゆったりとした時の流れに浸ってみてはいかがでしょう。

この3月に、宮田宿本陣の屋根が17年ぶりに葺き替えられます。葺き替えの時には工事の様子を一般の方にも見ていただくことができます。日程などはお問い合わせください。



唯一現存する本陣建物

本陣の建物は、家族が生活していた母屋と大名の宿泊施設である座敷棟、その正面の門、裏の土蔵からなっており、座敷棟は一段高く、正面に妻を向けて建てられ、母屋との間は渡り廊下で結ばれていました。

棟札は残っていませんが、鑑定の結果、母屋が今から240年ほど前の18世紀後半、座敷棟が200年ほど前の19世紀初めに建てられたものとされており、伊那街道では唯一現存する本陣建物なのです。建物は何回もの改修が施されてきましたが、創建当時の姿に復元してあります。

開館時間

午前9時～午後5時

11月～3月は午後4時まで

休館日

毎週水曜日、12月21日～1月4日

観覧料

高校生・一般 200円

小・中学生 100円

20人以上の団体は半額

問い合わせ

宮田村教育委員会

☎ 0265(85)局2314